

第2回小浜市介護保険事業計画等策定委員会 次第

日 時：令和8年9月7日（月）午後7時～

場 所：小浜市健康管理センター 1階 研修会議室

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 協議・報告事項

（1）認知症施策推進計画策定に向けた調査結果について

（2）高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画の評価指標について

（3）国の基本方針案について

（4）高齢者福祉計画および第10期介護保険事業計画の施策体系案について

（5）その他

- ・圏域ごとの特性について

- ・ひとり暮らし高齢者の状況について

- ・特別養護老人ホーム待機者調査結果について

4. その他

5. 閉会

(1) 認知症施策推進計画策定に向けた調査結果について

認知症に係る施策検討の基礎資料とすることを目的に、認知症の方に関わる各種団体、関係機関等を対象にヒアリング調査、懇談会を実施し、認知症施策に対する意見を把握しました。

ヒアリング調査

調査シートにより関係団体等へヒアリングを実施。認知症施策に関する課題等を把握しました。

認知症への理解促進

⇒研修や講座、広報のさらなる充実 家族・地域の理解促進 学校教育

認知症の方の社会参加

⇒居場所づくり 地域での役割・活動の活性化

認知症の方の意思決定・権利擁護

⇒認知症の正しい知識と制度の周知 サービス利用への支援

認知症の方や家族への支援

⇒相談しやすい環境づくり 早期発見の取組みの充実 家族への支援

懇談会の開催

ヒアリング調査の内容を踏まえ、関係者による懇談会を開催し、課題を共有したうえで、意見を集めました。

認知症の理解促進、移動・外出支援、介護者への支援、相談体制の強化、地域の支援、サロン・教室の充実、人材確保・福祉教育

(2) 高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画の 評価指標について

1. 評価指標について

小浜市高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画（以下「第9期計画」）では、計画の推進に向け、評価指標（数値目標）を設定しており、各項目の目標値に対する実績値により進捗状況を把握しました。

2. 評価指標の進捗状況について

設定された24の数値目標について、設定した指標の達成状況を下記の基準に基づき分類すると、指標のうち、「達成済み」のAに分類される指標が9項目、「現状値より改善」のBに分類される指標が8項目、「現状値より悪化」のCに分類される項目が7項目となっています。

それぞれの数値目標に関する取組み内容、課題等については5ページ以降のまとめをご参照ください。

分類基準

進捗区分	評価内容
A	「達成済み」：目標値を達成した。
B	「現状値より改善」：目標値は達成していないが、基準値より増加など改善・維持することができた。
C	「現状値より悪化」：目標値を達成せず、基準値に対して悪化した（増加の目標値に対して実績値が減少した 等）

※令和7年度の目標値に対する実績値により進捗状況を評価した。基準値は令和5年度実績値。

評価指標の達成状況

基本目標1 自立した生活と介護予防の推進

1. 介護予防・生活支援サービスの充実

ふれあいサロン		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
設置数（区）	目標値		116	117	B
	実績値	115	116	116	
開催数（回）	目標値		825	850	B
	実績値	735	871	785	
延べ参加者（人）	目標値		8,700	8,900	B
	実績値	7,157	8,119	7,576	
生活支援体制整備事業		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
第2層協議体の設置（か所）	目標値		2	2	A
	実績値	1	2	2	
第2層生活支援コーディネーターの配置（人）	目標値		2	2	A
	実績値	1	2	2	
高齢者の自立支援に向けたリハビリテーション専門職等の訪問指導		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
活用件数（件）	目標値		5	5	C
	実績値	1	0	0	

2. 健康づくりの推進

特定健康診査		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
受診率（％）	目標値		45.0	47.0	B
	実績値	41.7	44.7	（暫定値）44.7	

3. 在宅医療と介護の連携

多職種連携研修会		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
開催回数（回）	目標値		2	2	B
	実績値	2	1	2	

基本目標2 地域での支え合いづくり

1. 相談・支援体制の強化

地域ケア会議の開催		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
開催数（回）	目標値		12	12	A
	実績値	11	12	12	

2. 地域での見守り・福祉活動の充実

介護ボランティアの登録		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
ボランティア登録者（延べ人数）	目標値		114	120	B
	実績値	75	80	79	

3. 家族介護者への支援

家族介護者交流会		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
開催回数	目標値		5	5	A
	実績値	5	5	5	
参加者数	目標値		90	100	C
	実績値	77	69	61	

基本目標3 認知症施策の推進と権利擁護

1. 認知症施策の推進

認知症サポーターの養成		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
養成講座実施数（回）	目標値		5	5	B
	実績値	3	4	4	
養成者（人）	目標値		70	70	C
	実績値	162	75	53	
延べ養成者（人）	目標値		5,344	5,414	A
	実績値	5,286	5,361	5,414	

2. 高齢者の権利擁護

権利擁護推進会議の開催		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
開催数（回）	目標値		1	1	A
	実績値	1	1	1	

基本目標4 生きがいづくり・社会参加の促進

1. 生涯学習・スポーツ・団体活動への支援

学級講座・成人大学講座		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
講座回数	目標値		90	90	A
	実績値	96	86	92	
受講者数	目標値		2,800	3,000	C
	実績値	2,837	2,286	2,285	

基本目標5 安全に暮らせる環境づくり

1. 高齢者の防災・防犯等の安全の確保

避難行動要支援者の個別避難計画の策定		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
策定割合（％）	目標値		70.0	72.5	B
	実績値	54.3	55.5	54.7	
ふれあいサロン等での出前講座の実績（交通・防犯・消費生活）		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
実施回数	目標値		21	21	A
	実績値	46	53	25	
参加人数	目標値		230	230	A
	実績値	655	557	312	

基本目標6 介護保険サービスの充実

2. 介護給付等の適正化への取り組み

ケアプラン点検の実施（運営指導分）		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
点検数（件）	目標値		25	25	C
	実績値	4	0	0	
事業所への運営指導の実施		令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
地域密着型サービス事業所（件）	目標値		3	3	C
	実績値	0	0	0	
居宅介護支援事業所（件）	目標値		2	2	C
	実績値	1	0	0	

3. 数値目標に関する取り組み内容、課題等について

基本目標1 自立した生活と介護予防の推進

1. 介護予防・生活支援サービスの充実
ふれあいサロン
○社会福祉法人若狭福祉会・小浜市社会福祉協議会にふれあいサロン活動の支援を業務委託して実施している。 ○行政区単位での設置を目標とし、設置区に対しては運営継続支援、未設置区に対しては立ち上げ支援、休止地区においては再開支援を実施している。 ○サロンリーダーや運営協力者といった担い手不足、サロンの新規立ち上げや休止区の再開が課題となっている。
生活支援体制整備事業
○生活支援コーディネーターによる地域の活動支援として次の取組みを推進している。 ・運動をきっかけとする自主活動推進のため、いきいき百歳体操を周知、体験の機会を支援 ・定期的にいきいき百歳体操に取り組もうとしている自主団体への立ち上げ支援 ・生活支援サービスマップの作成、内容の更新と配布 ・市内生活支援体制整備に向け、市民に対し支え合いについて啓発 ○第1層協議体を開催し、地域包括支援センターと介護保険者間の協議、各地区コミュニティセンター職員への聴き取りなどを実施した。
高齢者の自立支援に向けたリハビリテーション専門職等の訪問指導
○ケアマネジャー等が地域ケア会議で受けた助言を高齢者本人や家族に分かりやすく伝えるため、リハビリテーション専門職が自立を阻害している要因をアセスメントし、介護予防に関する技術的な助言を行う体制を整備した。 ○対象ケースが地域ケア会議で検討したケースとなっているため、利用数が少ないことが課題となっている。
2. 健康づくりの推進
特定健康診査
○特定健診は、受診勧奨の強化や連続受診者への健診費用の無料化、健診日を事前に指定した自動予約などを実施したことにより受診率が向上し、毎年受診する継続受診率についても、毎年維持している。 ○健診受診者に対して、病院受診が必要な人への受診勧奨や保健指導を実施している。
3. 在宅医療と介護の連携
多職種連携研修会
○年に1～2回多職種連携研修会を開催し、医療関係者や介護関係者が顔の見える関係を築くことで、高齢者の健康状態について医師、看護師、介護支援専門員、介護従事者等、医療や介護を支える専門職が情報共有をスムーズに行える協力体制の構築を進めている。

基本目標2 地域での支え合いづくり

1. 相談・支援体制の強化
地域ケア会議の開催
○高齢者の個別課題の解決とともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメント力向上を目的に、個別事例検討を重ねている。
○介護支援専門員だけでなく、サービス事業所にも参加を促し、自立支援に向けて目標や課題を共有し、多職種連携やネットワークの構築を推進している。
2. 地域での見守り・福祉活動の充実
介護ボランティアの登録
○ボランティア養成講座を開催し、情報提供や意見交換等のできる機会を設けている。
3. 家族介護者への支援
家族介護者交流会
○年4～5回交流会を開催し、介護に関する相談や情報提供、参加者同士が悩みや体験を共有することで、介護者の身体的・精神的な負担軽減およびリフレッシュができています。
○令和4年度から、要介護1～5以外の軽度の高齢者を介護している方についても交流会に参加できるよう対象者を拡大している。
○新規参加者や男性介護者の参加率が低く、周知方法の検討が課題となっている。

基本目標3 認知症施策の推進と権利擁護

1. 認知症施策の推進
認知症サポーターの養成
○認知症サポーター養成講座や出前講座を通じて、認知症になっても安心して暮らせるよう認知症に関する普及啓発活動を実施している。
○令和4年度に市内で活動している3団体をチームオレンジとして認定し、交流会等を通じて団体同士の交流や情報交換を行っている。
2. 高齢者の権利擁護
権利擁護推進会議の開催
○令和4年度に小浜市高齢者および障がい者虐待防止ネットワーク会議を「小浜市権利擁護推進会議」と名称変更し、再編している。
○虐待防止だけでなく、権利擁護支援の充実・強化を図るため、年1会議を開催している。
○弁護士、医療機関、介護・障害サービス事業所、民生委員等の関係機関によるネットワーク構築に取り組んでいる。

基本目標4 生きがいづくり・社会参加の促進

1. 生涯学習・スポーツ・団体活動への支援
学級講座・成人大学講座
○年間を通じて、おばま探求教室（旧成人大学）やコミュニティセンター講座（旧学級講座）を市内各地区コミュニティセンターで開催している。
○参加者の固定化が課題となっている。

基本目標5 安全に暮らせる環境づくり

1. 高齢者の防災・防犯等の安全の確保
避難行動要支援者の個別避難計画の策定
○原子力災害にも対応した内容に個別避難計画の内容を改めたほか、作成マニュアルを作成し、災害時の避難支援強化に努めている。 ○各区に個別避難計画の策定を依頼しているが、策定率向上のため、市内全地区の区長会において個別避難計画策定に係る説明を実施している。
ふれあいサロン等での出前講座の実績（交通・防犯・消費生活）
○市の広報誌、防災行政無線放送、市ホームページ、市公式LINE等を活用し、防災・防犯の注意喚起および啓発を行っている。 ○能登半島地震発生（令和6年1月）の影響から、令和5年度、令和6年度の参加人数が大幅に増加している。 ○高齢者対象のふれあいサロン等において、防災に関する取組みの紹介や詐欺・悪質商法に注意をしてもらう啓発を実施しました。また、年金支給日に合わせて詐欺被害防止の街頭啓発活動を実施した。 ○高齢者の交通安全に対する意識を高める取組みとして、高齢者向けのふれあいサロン等で、広く小浜市民の方に実践的な講習を受講していただける小浜市交通安全セミナーを開催している。

基本目標6 介護保険サービスの充実

2. 介護給付等の適正化への取組み
ケアプラン点検の実施（運営指導分）、事業所への運営指導の実施
○地域密着型サービスの充実を図るため、2か月に1回、運営推進会議を開催し、地域包括支援センター、保険者、区長、利用者・家族の代表者等、地域の多様な関係者と事業運営やサービス提供の状況について情報共有を行っている。また、多様な視点から寄せられた幅広い意見や助言を施設運営およびサービスの質の向上に反映している。 ○地域密着型サービス事業所および居宅介護支援事業所に対する運営指導については、計画どおり実施できず、運営状況の確認やケアプランチェックを含めた指導が十分に実施できていない。

(3) 国の基本指針案について

介護保険法において、国が介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（以下「基本指針」）を定めることとされています。

都道府県及び市町村は、基本指針に即して、3年を一期とする都道府県介護保険事業支援計画及び市町村介護保険事業計画を定めることとされており、基本指針は計画作成上のガイドラインの役割を果たしています。

2040年にかけて地域のサービス需要が変化していく中で、第10期介護保険事業（支援）計画から、都道府県が積極的に関与しながら、2040年等の中長期の介護サービス見込量を見据えて策定していくことがさらに重要となります。

国は基本指針において、地域の実情に応じて記載を充実する事項として、「中山間・人口減少地域対応」、「医療・介護連携」、「高齢者向け住まい」、「人材確保、生産性向上・経営改善支援」等について、第9期までの取組を前提に、第10期計画における位置づけを明確化した上で、必要な取組を進めることを示しています。

国の基本指針のポイント

1. 介護サービス基盤の計画的な整備

①介護保険事業（支援）計画の策定

- ・中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、都道府県と市町村が2040年度を見据えた中長期的な推計を実施し、共通の課題認識を持った上で、地域の関係者を含めてサービス提供体制のあり方を検討。
- ・計画策定にあたって都道府県・市町村や関係者が確認すべき指標や状況の提示等により、地域の現状把握・分析や計画策定を実施。

②地域の実情に応じたサービス提供体制の構築

- ・地域の類型（中山間・人口減少地域、大都市部、一般市等）を念頭に置いた計画策定。
- ・中山間・人口減少地域においては、関係者の意見を聞きながら、必要な対応（人材確保や生産性向上等の施策、新たな類型を含む特例介護サービスの活用等）について議論。
- ・医療との連携状況や有料老人ホーム等の高齢者向け住まいの入居の状況等を踏まえたサービス提供体制の構築。

2. 地域包括ケアシステムの深化

- ・総合事業の多様なサービス・活動の充実に向け、多様な主体とのつながりづくり等のさらなる支援や質の向上を図るための分析・評価等を推進。
- ・頼れる身寄りがいない高齢者等の生活ニーズを地域課題として解決するため、関係者を含めて地域全体で対応を協議し、切れ目のない支援が提供される地域づくりを推進
- ・認知症基本法及び認知症施策推進基本計画を踏まえた取組の推進。

3. 介護人材確保と職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援等

- ・都道府県が主体となって介護人材確保に関するプラットフォームを構築するとともに、生産性向上等の取組の促進を図るための協議会を設置し、地域の関係者が協働して課題解決に向けた実践的な取組を推進。

※第135回社会保障審議会介護保険部会資料より作成

参考：地域の実情に応じたサービス提供体制の構築（特定地域）

	現行（指定サービス）	新たに創設	
		特定地域サービス（介護（予防）給付）	特定地域居宅サービス等事業（地域支援事業）
地域	全国	中山間・人口減少地域	中山間・人口減少地域
人員配置基準	国の基準に従い、都道府県等が条例で規定	国の基準（※）に従い、都道府県等が条例で規定	国の基準（※）をもとに市町村が決定
報酬等	全国一律の介護報酬	中山間・人口減少地域の事業所の実情を踏まえた介護報酬	事業費（市町村が委託）
報酬等イメージ	出来高  1回〇〇円	包括的な評価を選択可能  月〇〇〇円/人（包括的な評価）	特定地域サービス（介護給付）における報酬分に加えて、通常の圏域を超える移動経費等を含めて、事業費として支払い
類型	居宅・施設サービス等	居宅・施設サービス等	居宅サービス等
対象事業所の手続き	指定	市町村に登録	市町村から委託等

（※）省令等に規定する予定

※「特定地域」については、現在議論が進められているところです。

【特定地域の考え方 素案①】今後、国が示す特定地域（中山間・人口減少地域）の基準において、特別地域加算や離島等相当サービスの対象地域はいずれも対象とする。

【特定地域の考え方 素案②】国が示す基準に該当する地域について市町村が特定地域としての指定の可否を検討し、その意向を踏まえて都道府県が対象地域を定める。

(4) 高齢者福祉計画および第10期介護保険事業計画の 施策体系案について

高齢化が進む中、高齢者が支援や介助が必要になっても住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進や地域共生社会の実現を念頭に置き、基本理念、基本目標等を設定します。

第10期計画においては、第9期計画の基本理念を引き継ぎ、その基本理念に基づき、6つの基本目標を設定します。

6つの基本目標については、認知症施策推進計画を包含するとともに、高齢者の生活を多面的に捉えた具体的な目標となるよう設定しました。

1. 基本理念案

基本理念

**地域の仲間と築く
生きがいあふれる安心のまちづくり**

2. 基本目標案

基本理念に基づき、第10期計画において取り組んでいくべき施策展開の基本的な6つの目標は次のとおりとなります。

基本目標1 健康づくり・介護予防の総合的な推進

高齢者が生活習慣病や要支援・要介護の状態にならずに、元気で活動的な生活を続けることができるよう、自ら行う健康づくり・介護予防を支援する取り組みを進めます。

介護予防については、身近な地域で継続的に取り組んでいくことができるよう、地域の資源を生かした、介護予防に取り組む地域づくりを支援します。

さらに、日常生活における生活習慣病への市民一人ひとりの意識を高めるとともに、特定健診や特定保健指導など、多様な健康づくり施策を推進します。

基本目標2 地域での支え合いづくり

地域包括ケアシステムの拠点として、高齢者の生活を支える総合機関としての役割を担っていくために、地域包括支援センターの機能強化を図ります。

また、地域住民同士がお互いに支え合う「地域共生社会」の実現に向け、高齢者自身も含めた多様な主体が地域の担い手となって支えあい、高齢者の日常生活を支

援する体制の整備を進めます。

さらに、地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の見守りや家族介護者への支援の充実を図ります。

基本目標3 認知症施策の推進【小浜市認知症施策推進計画】

認知症の人やその家族が地域の中で自分らしく暮らし続けられるよう、認知症に関する正しい知識の普及をはじめ、認知症の方への地域における支援体制の構築、認知症の人の家族も含めた認知症ケアの強化など認知症施策を総合的に推進します。

基本目標4 生きがいづくり・社会参加の促進

高齢になっても生きがいを持ち、地域や社会とのかかわりの中で、高齢者が自立的・自発的に地域活動に参画できるよう、老人クラブ活動への支援、生涯学習環境の充実など多様な活動支援のための施策を進めます。

また、高齢者を積極的に社会に貢献する人材として、高齢者の持つ経験・能力を発揮することができる環境整備を進めます。

基本目標5 安心して暮らせる環境づくり

高齢者が安心して生活できるよう、高齢者の権利擁護をはじめ、防災対策、防犯・交通安全・消費者対策やバリアフリー化など、生活の安全確保を進めます。

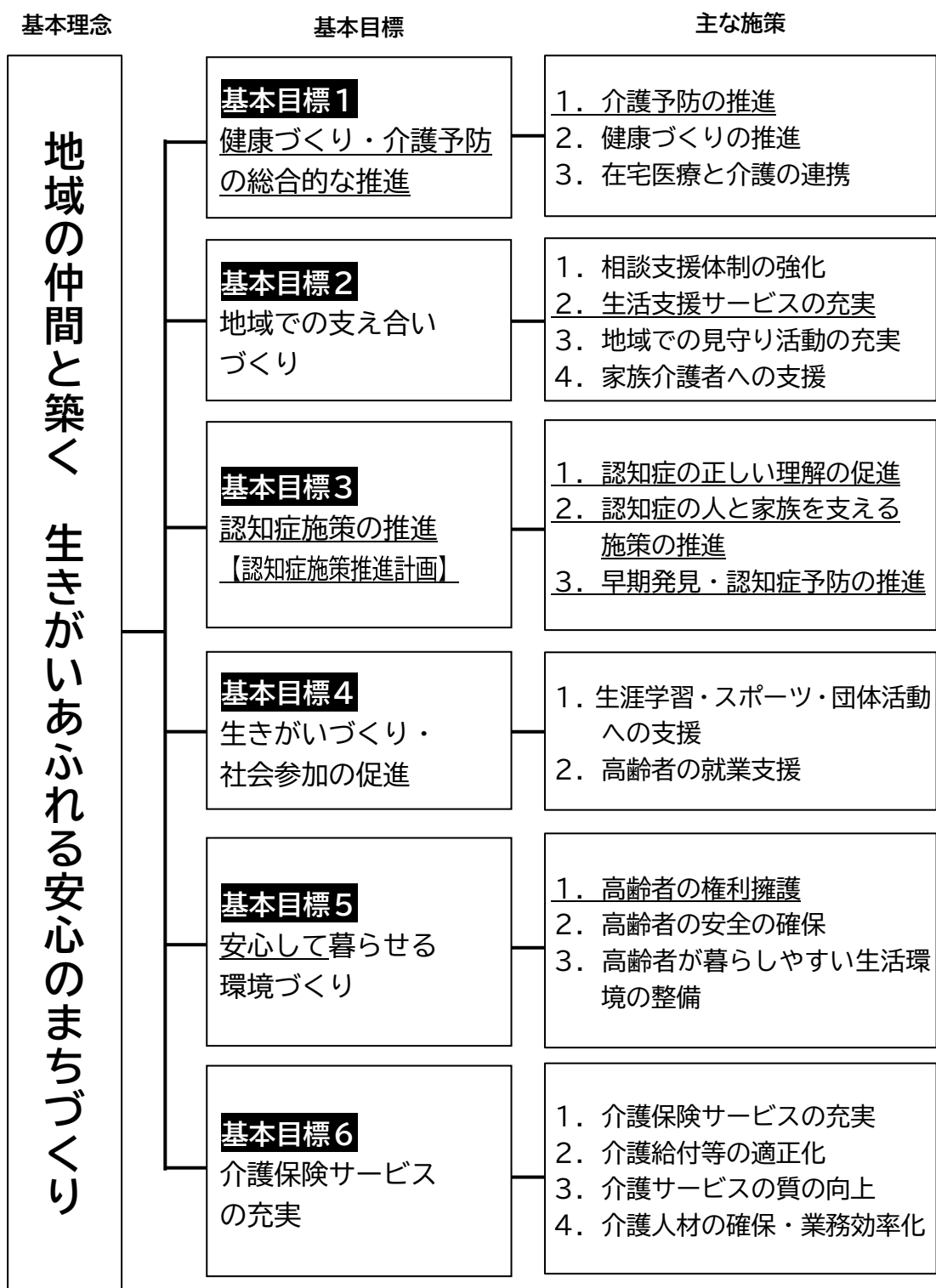
また、住宅改修など住み慣れた自宅で暮らすための支援とともに、多様なニーズや個々の身体状況に対応した高齢者の住まいの確保に努めます。

さらに、関係機関、事業者等との連携により、高齢者の身近な移動手段の確保に努めます。

基本目標6 介護保険サービスの充実

高齢者が適切なサービスを利用できるよう、介護保険サービスの充実を図るとともに、介護保険制度の円滑かつ適正な運営を推進し、制度の安定した継続性の確保に努めます。

また、サービス提供の基盤となる福祉・介護人材の確保、業務効率化のための支援を図ります。



3. 重点テーマの検討

第9期計画では計画推進の重点テーマとして「高齢者の健康・元気づくり」、「支え合いの体制づくり」の2つを設定し、計画期間における重点的な施策・事業の推進を図ってきました。第10期計画における重点テーマの設定について、第9期計画からの継承・発展も含め検討を行います。

第9期計画での重点テーマ

重点テーマ1	重点テーマ2
高齢者の健康・元気づくり	支え合いの体制づくり
生活習慣病対策に向けた各種健康診査や保健事業、介護予防事業の充実を図るとともに、高齢者が生きがいや役割を持ち、健康で充実した生活を過ごすことができるよう支援を行うとともに、積極的に社会貢献しその能力を発揮できる仕組みづくりを進めます。	ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者が増加する中、地域で自立した生活を支えるための多様なサービスを利用できるよう、個々の状況に応じた相談体制の充実をはじめ、必要なサービスへつなぐことのできる仕組みづくりを進めます。また、地域での見守り、支え合い活動の充実に向けた取組みを進めます。

(5) その他

圏域ごとの特性について

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について、圏域ごとの傾向を把握するため分析した結果のうち、特徴的な傾向は次のとおりとなっています。

性別、年齢、認定状況、介護・介助の必要性ともにほぼ同じ構成となっています（2ページ参照）。

■移動手段（3ページ）

- ・移動手段について傾向に差がみられ、「自動車（自分で運転）」が2つの圏域ともに最も多くなっていますが、その割合が圏域2で圏域1を上回っています。また、「徒歩」、「自転車」と回答する割合は圏域1で多くなっています。
- ・圏域1では徒歩や自転車で行動できる距離に商店や施設があるためその割合が多く、圏域2は生活する上で自動車での移動が前提となっています。今後、さらに高齢となり、自動車での移動が難しくなった際に、特に圏域2で生活を維持するためには、移動手段の確保が課題となることが見込まれます。

■地域での活動・助け合い（4ページ～）

- ・老人クラブや町内会・自治会への参加割合、地域活動への参加意向、心配事を聞いてくれる人や心配事を聞いてあげる人の「近隣」の割合といった、地域でのつながりの現状を把握する設問で圏域2の回答割合が圏域1をすべて上回っています。
- ・圏域2では、圏域1より地域でのつながりが強い傾向がみられることから、こうした傾向の差を踏まえながら、地域での支え合いや助け合い活動を促進するための仕組みを検討していく必要があります。

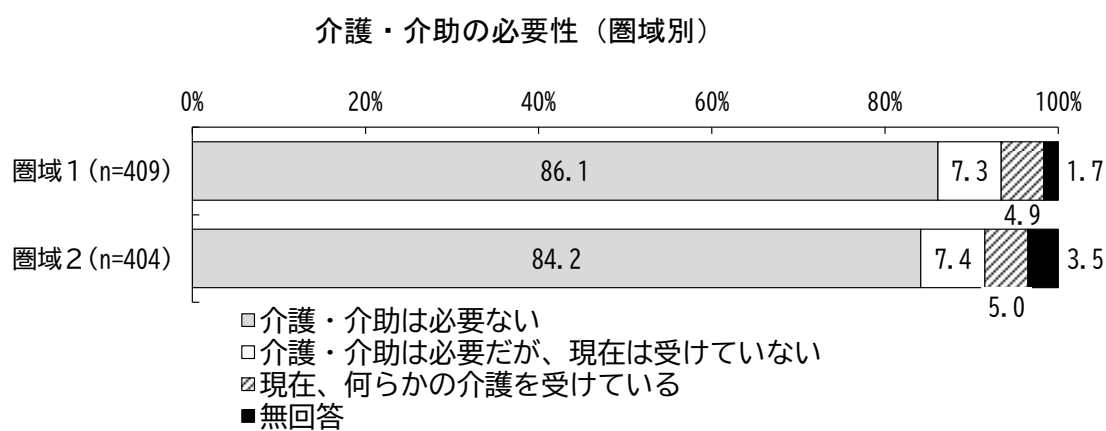
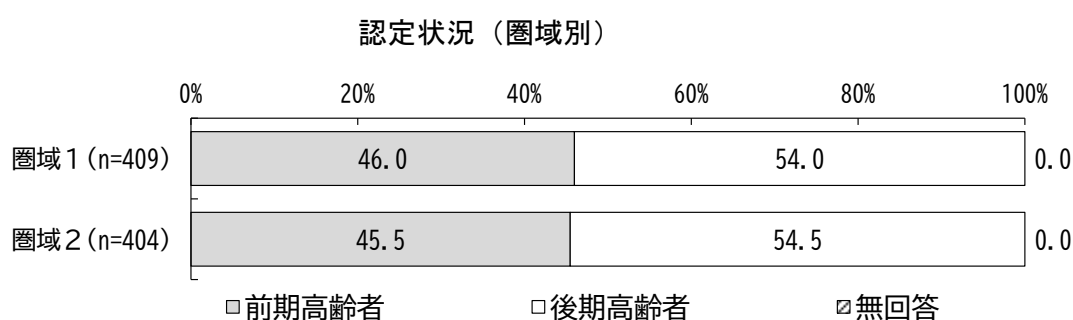
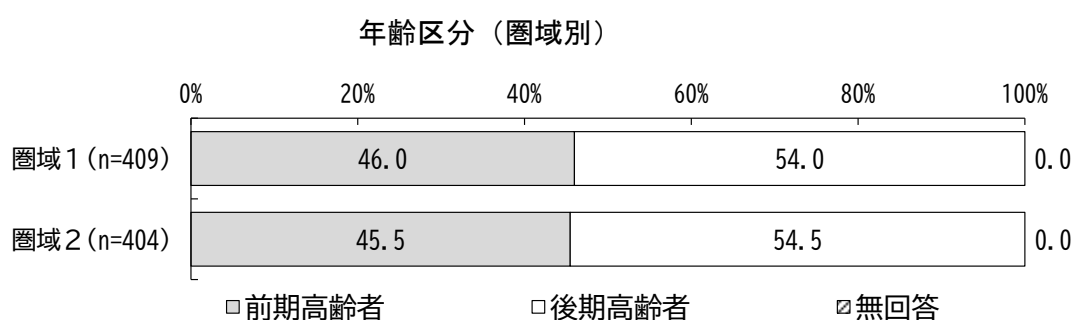
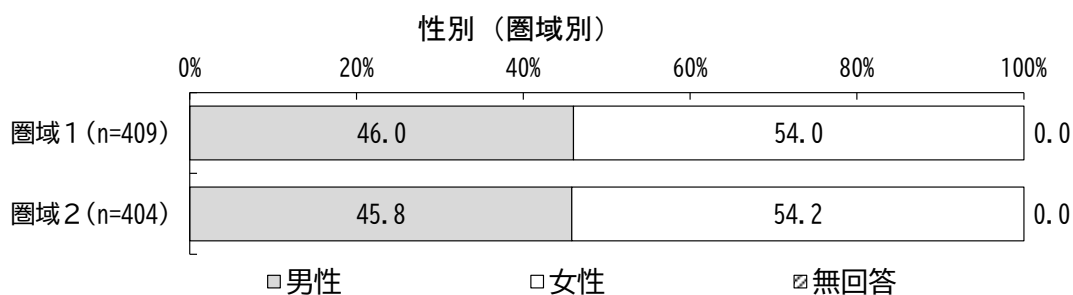
■日常生活圏域に含まれる地区は次のとおりとなります。

圏域1	圏域2
小浜、雲浜、西津、内外海、加斗	国富、宮川、松永、遠敷、今富、口名田、中名田

※日常生活圏域；高齢者が住み慣れた地域で生活を継続しながら、多様なサービスが受けられるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護サービスを提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案して定める区域。

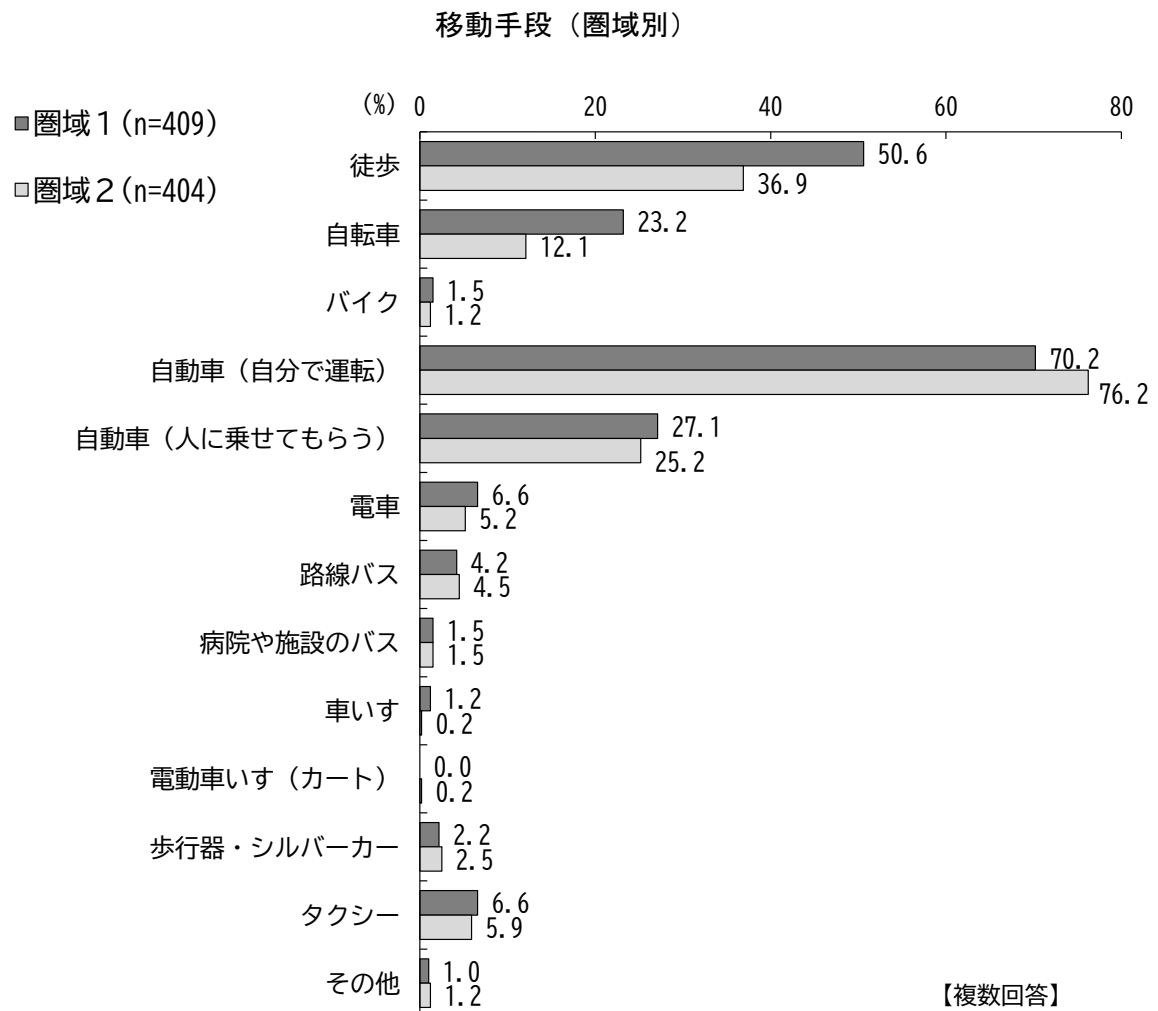
1. 圏域別の属性

■性別、年齢、認定状況、介護・介助の必要性ともにほぼ同じ構成となっています。



2. 移動手段について

■移動手段は「自動車（自分で運転）」が両圏域で最も多いが、その割合が圏域2で圏域1を上回る。また、「徒歩」、「自転車」と回答する割合は圏域1で多くなっています。

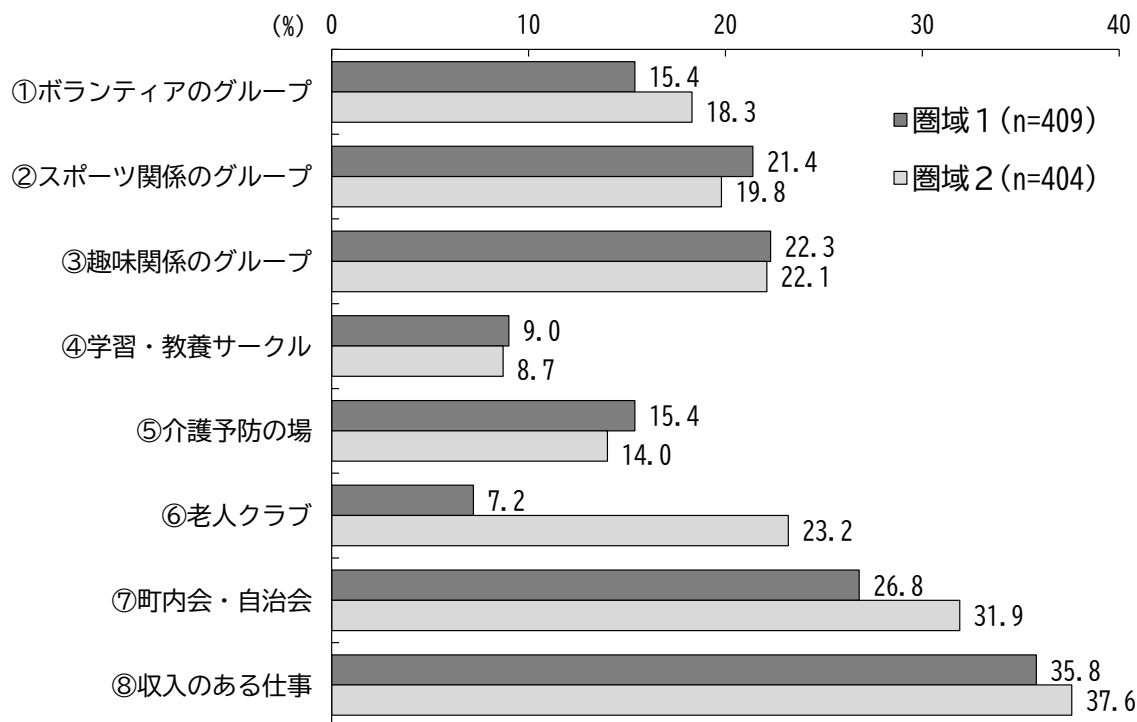


3. 地域での活動・たすけあいについて

(1) 各種地域活動への参加状況

■「月1回以上」と回答する割合が、おおむね圏域2で圏域1を上回り、特に⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会で差がみられます。

各種地域活動への参加状況：「月1回以上」と回答した割合（圏域別）

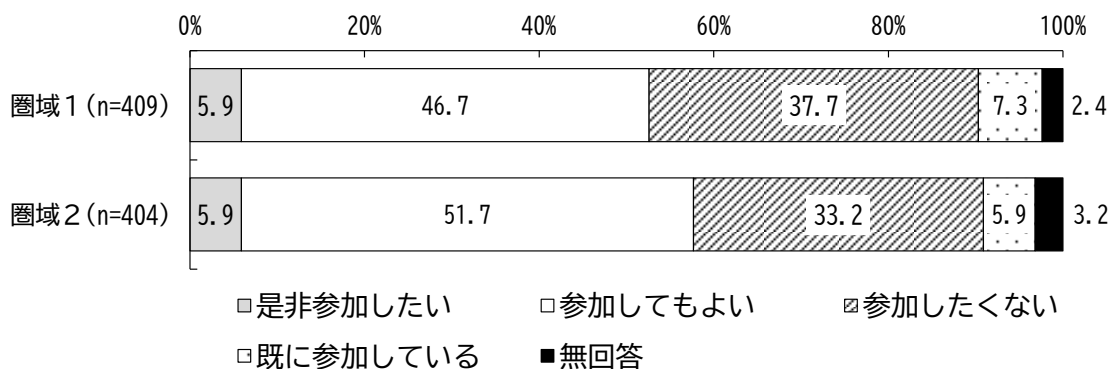


(2) 地域活動への参加意向

①参加者としての参加意向

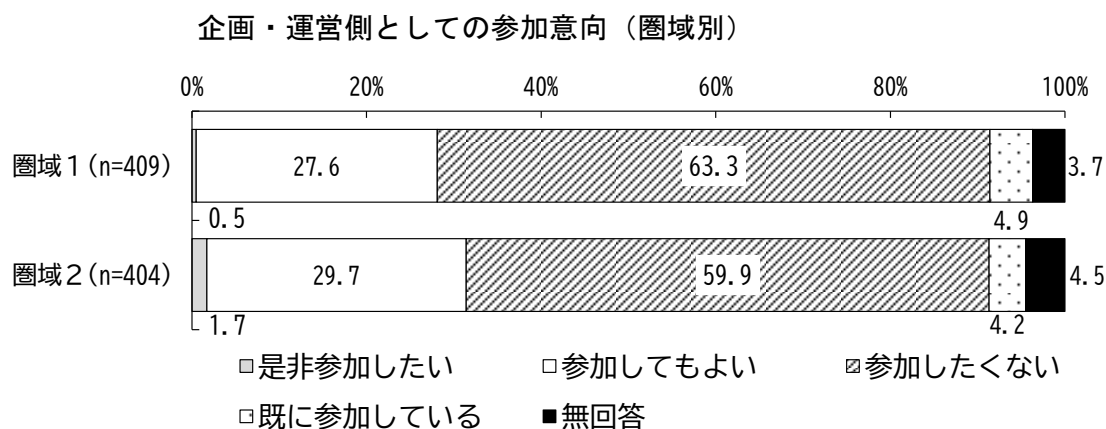
■参加者としての『参加意向あり』は、圏域2で57.6%と圏域1の52.6%を上回ります。

参加者としての参加意向（圏域別）



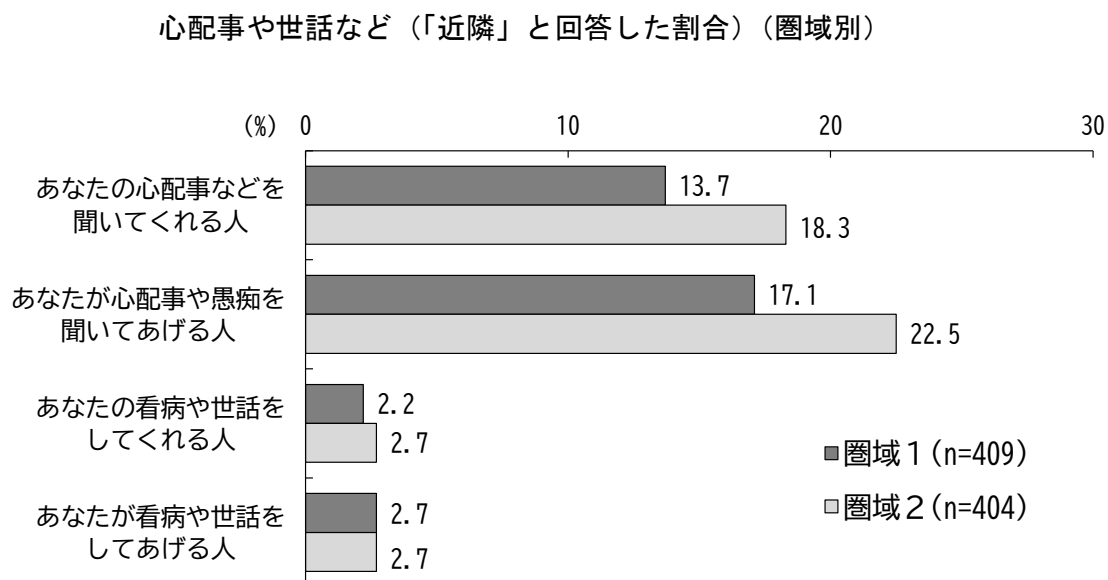
②企画・運営側としての参加意向

■企画・運営側としての『参加意向あり』は、圏域2で 31.4%と圏域1の 28.1%を上回ります。



（３）心配事や世話など

■「近隣」と回答した割合は、4つの項目のうち3つで圏域2が圏域1を上回り、隣近所の方の心配事などを聞いたり、聞いてあげる人が圏域2で多くなっています。



ひとり暮らし高齢者の状況について

ひとり暮らし高齢者の状況について、婚姻関係について分析した結果、男女ともに高齢者全体よりも未婚率が高く、特に男性では、高齢者全体の未婚率 6.3%に対してひとり暮らし高齢者では 29.1%と大きく上回っています。

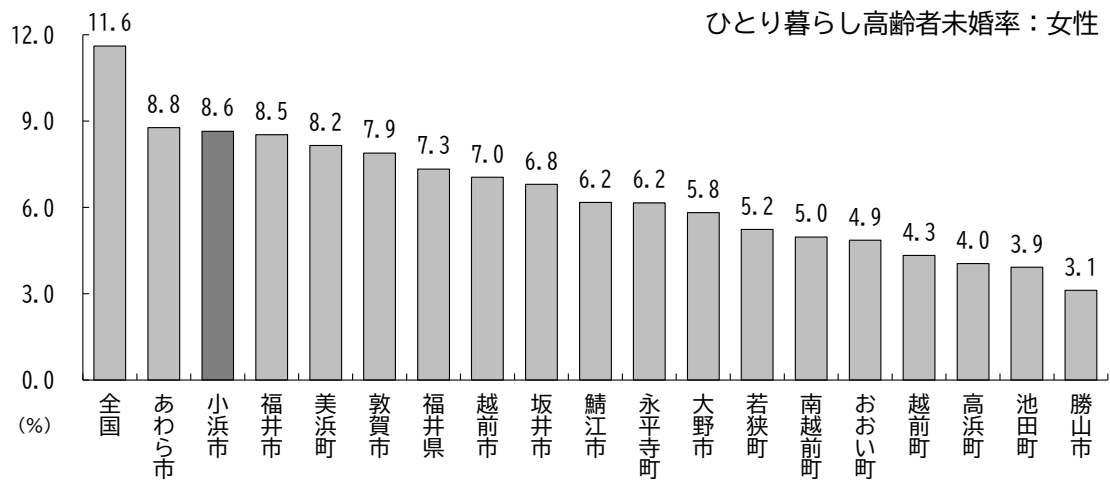
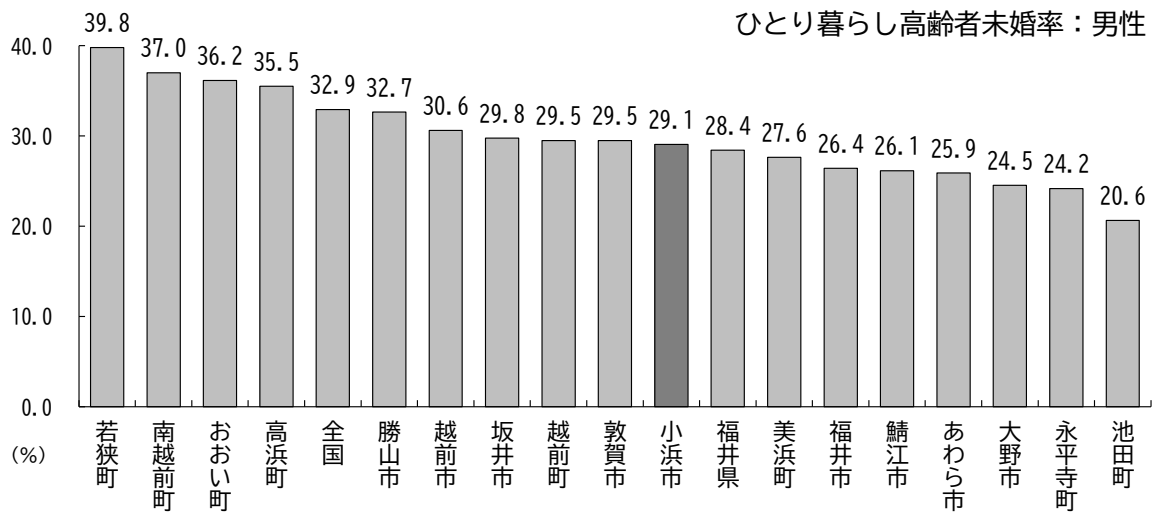
また、女性では高齢者全体の未婚率 3.0%に対してひとり暮らし高齢者では 8.6%となっており、全国（11.6%）を下回るものの、県（7.3%）を上回っています。

ひとり暮らし高齢者の未婚率

	男性					女性				
	ひとり暮らし高齢者				高齢者の 未婚率	ひとり暮らし高齢者				高齢者の 未婚率
		未婚	配偶関係 不詳	未婚率			未婚	配偶関係 不詳	未婚率	
小浜市	549	139	71	29.1	6.3	981	76	102	8.6	3.0
全国	2,308,171	644,239	352,251	32.9	6.8	4,408,635	463,471	413,414	11.6	4.5
福井県	10,896	2,814	999	28.4	4.8	20,471	1,423	1,055	7.3	2.4
福井市	3,813	889	450	26.4	4.4	7,510	596	515	8.5	2.8
敦賀市	1,132	302	108	29.5	6.0	2,266	171	98	7.9	2.9
大野市	454	105	26	24.5	5.4	826	47	18	5.8	2.4
勝山市	352	113	6	32.7	6.3	650	20	9	3.1	1.3
鯖江市	732	167	93	26.1	4.5	1,329	76	98	6.2	2.1
あわら市	417	100	31	25.9	4.2	806	67	42	8.8	2.6
越前市	1,065	289	121	30.6	4.5	1,817	120	114	7.0	2.0
坂井市	935	269	31	29.8	4.1	1,781	120	17	6.8	1.9
永平寺町	219	51	8	24.2	3.9	335	20	10	6.2	1.3
池田町	63	13	0	20.6	4.0	104	4	2	3.9	1.2
南越前町	155	57	1	37.0	4.6	284	14	2	5.0	1.3
越前町	270	77	9	29.5	6.0	487	21	2	4.3	3.0
美浜町	178	47	8	27.6	5.2	324	26	5	8.2	2.9
高浜町	229	71	29	35.5	6.8	338	13	17	4.0	1.8
おおい町	136	47	6	36.2	6.7	248	12	1	4.9	1.5
若狭町	197	78	1	39.8	5.7	385	20	3	5.2	1.4

※令和2年国勢調査。未婚率は配偶関係不詳を除いて算出。

ひとり暮らし高齢者の未婚率



※令和2年国勢調査。

特別養護老人ホーム待機者調査結果について

特別養護老人ホームに入所を申し込んでいるものの、調査時点で当該特別養護老人ホームに入所していない方の数を調査した。

基準日：令和8年6月1日

対象者：小浜市の被保険者

対象特養：市内4施設、市外3施設

集計結果

区分	人数	備考
全 数	2 4 5	各特養の回答から死亡者等を削除した数
実人数	1 4 3	複数の特養に申し込んでいる方を調整した数

施設別（重複申込者を含む）

施設名	人数
ひまわり荘	8 2
もみじの里	6 5
若狭ハイツ	5 6
若狭東ハイツ	7
松寿苑	2 8
楊梅苑	4
高浜けいあいの里	3
計	2 4 5

申込施設数別

施設数	人数
1 施設	8 5
2 施設	2 5
3 施設	2 4
4 施設	7
5 施設	2
計	1 4 3

年齢・介護度別

年齢区分	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
65 歳以上 70 歳未満			2	3	1	6
70 歳以上 75 歳未満			1			1
75 歳以上 80 歳未満		3	5	3	4	1 5
80 歳以上 85 歳未満	2	2	9	8	1	2 2
85 歳以上 90 歳未満	3	6	8	5		2 2
90 歳以上 95 歳未満	2	6	2 2	1 2	5	4 7
95 歳以上		4	1 9	5	2	3 0
計	7	2 1	6 6	3 6	1 3	1 4 3

待機者数の推移

調査時期	待機者数						
		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	その他
R2.10	2 1 1	1 3	2 0	8 9	6 5	2 3	1
R3. 9	2 0 8	1 0	1 8	8 9	6 9	2 0	2
R4. 7	1 9 6	4	2 3	6 7	6 1	4 1	0
R5.10	1 8 1	2	2 5	6 9	5 2	2 7	6
R6.12	2 0 5	4	2 0	1 0 5	6 0	1 6	0
R8.06	1 4 3	7	2 1	6 6	3 7	1 3	0